

学校・家庭・地域で育む “かみのかわの子ども”

令和4(2022)年11月発行 上三川町教育委員会

全国学力・学習状況調査「教科に関する調査結果」から

令和4年4月19日(火)に行われました全国学力・学習状況調査の結果について、表面は教科を、裏面は質問紙を分析したものを掲載しました。(小学校6年生及び中学校3年生を対象)

小学国語	上三川町	栃木県	全国	県との差
言葉の特徴や使い方	73.3	68.2	69.0	5.1
我が国の言語文化	89.2	81.0	77.9	8.2
話すこと・聞くこと	65.1	66.6	66.2	-1.5
書くこと	45.9	48.7	48.5	-2.8
読むこと	63.0	65.2	66.6	-2.2

(小学国語)

○「言葉の特徴や使い方」「我が国の言語文化」領域の正答率が県平均を上回った。

△「書くこと」「読むこと」領域の正答率が県平均を下回った。

△自分の考えを条件に合わせて文章で書くことに課題があった。

小学算数	上三川町	栃木県	全国	県との差
数と計算	69.0	69.0	69.8	0.0
図形	66.6	64.1	64.0	2.5
変化と関係	48.1	49.0	51.3	-0.9
データの活用	65.3	66.5	68.7	-1.2

(小学算数)

○「図形」領域の正答率が県平均を上回った。

△「データの活用」領域は、データを読み取ったり、考察したりすることに課題があった。

小学理科	上三川町	栃木県	全国	県との差
エネルギー	50.6	51.6	51.6	-1.0
粒子	64.2	61.6	60.4	2.6
生命	76.5	76.1	75.0	0.4
地球	66.2	64.7	64.6	1.5

(小学理科)

○「粒子」領域の正答率が県平均を上回った。

△実験結果を事実として分析し、結論の根拠として表現する問題で課題があった。

中学国語	上三川町	栃木県	全国	県との差
言葉の特徴や使い方	76.0	72.1	72.2	3.9
情報の扱い方	50.2	47.7	46.5	2.5
我が国の言語文化	77.3	70.6	70.2	6.7
話すこと・聞くこと	66.1	63.9	63.9	2.2
書くこと	50.2	47.7	46.5	2.5
読むこと	69.7	67.0	67.9	2.7

(中学国語)

○全ての領域において正答率が県平均を上回った。

○行書の特徴をふまえた書き方や漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方についての問題で正答率が高かった。

△自分の考えを記述する問題で無解答率が高く課題があった。

中学数学	上三川町	栃木県	全国	県との差
数と式	61.6	54.8	57.4	6.8
図形	48.2	42.6	43.6	5.6
関数	43.2	41.9	43.6	1.3
データの活用	55.3	54.8	57.1	0.5

(中学数学)

○「数と式」「図形」領域の正答率が県平均を上回った。

○筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明する問題で正答率が高かった。

△数学的に説明を記述する問題で無解答率が高く課題があった。

中学理科	上三川町	栃木県	全国	県との差
エネルギー	44.9	42.1	41.9	2.8
粒子	51.0	50.9	50.9	0.1
生命	60.8	58.9	57.9	1.9
地球	47.5	44.9	44.3	2.6

(中学理科)

○「エネルギー」「地球」領域の正答率が県平均を上回った。

△「状態変化」に関する知識を身近な事象と関連させて考える問題で課題があった。

上三川町では、各教科において記述式問題で課題が見られることから、児童生徒が粘り強く課題に取り組み、自分の考えを文章で表現できるように、授業改善を進めていきます。

全国学力・学習状況調査「質問紙の回答」から



学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つかと思いますか。

【小...全国94.4%⇔町97.7%・中...全国92.6%⇔町94.5%】



勉強は大切だと思いますか。（国/算(数)/理の平均）

【小...全国91.3%⇔町94.7%・中...全国85.5%⇔町90.4%】



今住んでいる地域の行事に参加していますか。

【小...全国52.7%⇔町60.2%・中...全国40.0%⇔町61.0%】

参考：H30 小 町79.7% 中 町61.1%

一人一台タブレットが配備され、各校では、授業での活用方法について研究を進めています。その中で、子どもたちはICT機器を効果的に活用できているようです。今後も様々な場面での活用が期待される反面、使用する上での課題が浮上してくることが予想されます。町内の各学校でルールやマナーを児童生徒と確認しながら話し合っていきます。

●携帯電話やスマートフォン・タブレット等の家庭での約束は決められていますか？

調査の結果によると、携帯電話・スマートフォンの所持率は、小学6年生では約7割、中学3年生では約9割となっています。そのうち、家庭での「約束はない」との回答は、小・中ともに県平均を上回り、特に中学校では県15.7%に対し、町24.7%と大きく上回っています。

携帯電話やスマートフォンについて、御家庭でよく話し合い、約束を決めることが、トラブル防止の第一歩となります。ぜひ、御協力ください。

動画を1日1時間以上視聴する児童生徒の割合は、小学6年生では約5割、中学3年生では約7割にのぼり、動画視聴の時間は中学生になるとさらに伸びる傾向があります。

また、「1日4時間以上使用している。」という回答もありました。長時間使用する児童生徒ほど、学力調査の正答率は低くなる傾向にあります。家庭での使用時間や使い方について話し合い、時間を上手に使えるようにしましょう。

★★★お子さんと話し合って約束を決めてみましょう★★★

- (例) ☐ 使用時間は（ ）分/時間まで。
☐ 使用していいのは（ ）時まで。
☐ 使用場所は（ ）で。
☐ （ ）のときは使用するのをやめよう。

※ご飯、お風呂、お出かけ、来客等

- ☐ 使用しないときは（ ）に置いておこう。

